

食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献する

重点課題	活動テーマ	達成に向けた施策	基準年度 (2021年度)	中間目標及び進捗 (2023年6月現在)	目標 (2030年)
<b>環境</b>   	<b>環境に配慮した設備の更新 (CO2排出量削減)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内照明設備のLED化</li> <li>冷凍機の冷媒を代替フロ (R22) から、自然エネルギー (CO2、NH3) を用いた設備への更新</li> </ul>	<b>【電気使用量】</b> 1335.8kwh / 百万円 (製造高) <b>【冷凍機】</b> 0機 / 5機 <b>【照明】</b> 65機 / 142機	<b>【電気使用量】</b> 990.2kwh / 百万円 (25%削減) <b>【冷凍機】</b> 1機/5機 (20%更新) <b>1機更新 (22年11月)</b> <b>2機更新(23年6月)</b> <b>【照明】</b> 76機 / 142機 (50%更新) <b>92機/142機更新 (23年6月)</b>	2021年度対比 電気使用量45%削減  すべての冷凍機・照明設備の更新
	<b>食品廃棄物の削減や活用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造工程の自動化によるロスの削減</li> <li>自社直販による規格外品の販売</li> <li>完全受注による製造への転換</li> <li>製造工程でのロス削減 (既製品パーツ以外での開発)</li> </ul>	<b>【廃棄量】</b> 31.26kg / 百万円 (製造高)	<b>【廃棄量】</b> 26.82kg / 百万円 (14%削減) (2023年6月現在)	[2021年度対比] 35%削減 (20.0kg / 百万円)
	<b>インボイス制度の導入 (ペーパーレス化の推進)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝票の電子化</li> <li>製造現場でのタブレット導入</li> <li>F A X の電子受信</li> </ul>	<b>【購入数量】</b> 約100,000枚 / 年	<b>【購入数量】</b> 約50,000枚 / 年 (50%削減) (2023年6月現在)	[2021年度対比] 80%削減 (20,000枚 / 年)
<b>働き方</b> 	<b>全社員が活躍できる労働環境整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>適正な労働環境の整備</li> <li>社員の健康増進</li> <li>ワークライフバランスの実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>残業時間の削減</li> <li>働き方改革の実施</li> <li>製造現場でのタブレット導入</li> <li>ISO9001の仕組みを利用した社内向け整備 (従業員も大切な顧客と捉える)</li> </ul>	<b>【月間残業時間平均】</b> 22.4h	<b>【月間残業時間平均】</b> 20.8h (10%減)	[2021年度対比] 残業時間30%削減

※当社のCO2排出の約9割以上が電気の使用に由来しております。そのため、電気使用を抑制することがCO2の削減につながると考えエネルギー効率の良い設備への更新、「省エネ」に努めてまいります